

## (臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器外科に、妊娠期間中に急性虫垂炎で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、倫理審査委員会で承認され、高槻病院院長の研究実施許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

妊娠合併虫垂炎に対する腹腔鏡手術についての後ろ向き観察研究

### 2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器外科 医員 池田 太郎

### 3. 研究の目的

急性虫垂炎は妊娠中に発生する急性腹症の中では比較的頻度が高く、重症化すると胎児へ重大な影響を及ぼすことが知られており、迅速な診断と治療の開始が望まれます。手術であれば従来は開腹手術を選択する事が多かったですが、開腹手術では、切開創が大きくなる、子宮圧迫による早産誘発のリスクが増大する等のデメリットが考えられます。一方、腹腔鏡手術では切開創が小さく、良好な視野が確保できる、子宮圧迫を避けて愛護的な手技が可能になる等のメリットがあり、近年妊婦に対する腹腔鏡下手術の報告が散見されるようになり、治療の選択肢として広く行われるようになってきておりますがその手術成績や安全性については明らかになっていない部分もあります。本研究は、妊娠合併虫垂炎に対する腹腔鏡下虫垂切除術における手術成績、周術期合併症、挙児転帰を解析し、手術成績、安全性を明らかにする目的で行います。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

妊娠期間中の急性虫垂炎の患者さんで、西暦 2017 年 4 月 1 日から西暦 2022 年 3 月 31 日までの期間中に、腹腔鏡下虫垂切除術を受けた方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、手術時の妊娠週数、出産週数、出産回数、手術時間、麻酔時間、気腹時間、出血量、虫垂の処理法、合併症、流産の有無、胎児の転帰に関する情報です。

#### (3) 方法

電子カルテから情報を抽出し解析を行います。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

この研究に利用する資金源、利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器外科 担当医師 池田 太郎

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : tikeda@med.kobe-u.ac.jp